

国立能楽堂

2

February 2024
National
Noh Theatre

令和六年 二月
開場40周年記念
40 anniversary

月間特集 絵画と能・狂言 英一蝶没後三〇〇年

普及公演 2月17日(土) 午後1時開演

解説・能楽あんない
江戸時代に描かれた
能・狂言画と英一蝶

小林 健二
(国文学研究資料館名誉教授)

狂言 柿山伏
能 蟻通

山本凜太郎 (大蔵流)
香川 靖嗣 (喜多流)

定例公演 2月21日(水) 午後1時開演

狂言 節分
能 松風

三宅 右矩 (和泉流)
梅若 紀彰 (観世流)

定例公演 2月29日(木) 午後5時30分開演

狂言 内沙汰
能 小督

石田 幸雄 (和泉流)
廣田 幸稔 (金剛流)



英一蝶模「十二月風俗図(模本)」より狂言図(部分)(東京国立博物館蔵)
Image: TNM Image Archives
※原本・英一蝶



予約開始
1月10日(水) 午前10時~
窓口販売開始=1月11日(木)
(チケット売場 午前10時~午後6時)
※窓口販売用は別枠でのお取り扱いをさせていただきます。

〔電話〕国立劇場チケットセンター (午前10時~午後6時)
0570-07-9900 / 03-3230-3000 [一部IP電話等]

〔インターネット〕 [国立劇場チケットセンター](https://t.pia.jp/)

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> e+(イープラス) <https://eplus.jp/>

入場料金 (定例・普及公演)
正面¥5,000・脇正面¥3,300・中正面¥3,000
学生: 脇正面¥2,300・中正面¥2,100

※全公演予約券です(日本語・英語)。
※障害者の方は2割引です。車椅子などの詳細についてはチケットセンターまでお問い合わせください。※出演者などの変更の場合はご了承ください。

National Noh Theatre
February 2024

Noh/Kyogen Performances: February 17 (Sat.) 1 pm, February 21 (Wed.) 1 pm, February 29 (Thu.) 5:30 pm
Tickets: ¥3,000-¥5,000 On Sale: January 10 (Wed.) 10 am National Theatre Ticket Centre +81-3-3230-3000 (10:00-18:00JST)
https://ticket.ntj.jac.go.jp/top_e.htm Individual subtitle monitors are available in both English and Japanese.

国立能楽堂

JR(中央:総武線)千駄ヶ谷駅(エレベーター・エスカレーターあり)下車・徒歩5分。都営地下鉄(大江戸線)国立競技場駅下車 A4出口
(エスカレーターあり)・徒歩5分 東京メトロ(副都心線)北参道駅下車 出口1(エレベーター・エスカレーターあり)または2(エスカレーターあり)・徒歩7分
都バス早81(渋谷-早大正門)/黒77(目黒-千駄ヶ谷駅前)千駄ヶ谷駅前下車・徒歩5分 ハチ公バス神宮の社ルート国立能楽堂下車すぐ
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1 TEL.03-3423-1331(代) <https://www.ntj.jac.go.jp/nou.html>

普及公演 幕

2月17日(土) 午後1時開演

解説・能楽あんない
江戸時代に描かれた
能・狂言画と英一蝶

小林 健二
(国文学研究資料館名誉教授)

柿山伏

シテ/山伏 山本 凜太郎
アド/畑主 山本 則秀

蟻通

シテ/宮守 香川 靖嗣
ワキ/紀貫之 大日方 寛
ワキツレ/從僧 殿田 謙吉
ワキツレ/從僧 宝生 朝哉
前 藤田 次郎
小鼓 観世 新九郎
大鼓 白坂 信行
太鼓 上田 慎也
後見 中村 邦生
友枝 友枝 雄人
友枝 真也 金子敬一郎
佐々木多門 長島 茂
内田 成信 友枝 昭世
大島 輝久 狩野 了一

終演予定午後3時15分頃
※解説の字幕表示はございません。

定例公演 幕

2月21日(水) 午後1時開演

節分

シテ/鬼 三宅 右矩
アド/女 三宅 近成

松風

シテ/松風 梅若 紀彰
ツレ/村雨 角 当直
ワキ/旅僧 殿田 謙吉
後見 山原 幸三
大鼓 赤井 啓三
小鼓 幸岡 正昭
見留 川中 一之
鷹尾 雄紀 内藤 幸雄
山崎 友正 鷹尾 維教
小田切亮磨 山崎 正道
坂 真太郎 鷹尾 章弘

終演予定午後4時頃

定例公演 幕

2月29日(木) 午後5時30分開演

内沙汰

シテ/右近 石田 幸雄
アド/妻 野村 萬斎

小督

シテ/源仲国 廣田 幸稔
ツレ/小督 廣田 泰能
ツレ/侍女 宇高 徳成
ワキ/匠下 高井 松男
アイ/女 深田 博治
前 成田 寛人
大鼓 古賀 裕己
小鼓 守家 由訓
後見 豊嶋 幸洋
宇高 竜成
向井 弘記
山田 伊純 坂本立津朗
元吉 正巳 金剛 龍謹
豊嶋 晃嗣 種田 道一
重本 昌也 今井 克紀

終演予定午後7時45分頃

能楽若手研究会東京公演 第32回 東京若手能

2月23日(金・祝) 午後1時開演

百万

シテ/百万の子 坂井 音晴
ワキ/僧 坂井 真悠子
アイ/門前の者 内藤 誠吾
前 小野寺 竜一
小鼓 森岡 貴史
大鼓 原岡 一之
太鼓 山階 真佐人
後見 久田 勘吉郎 坂井 音雅
関根 祥丸 木月 宣行
木月 章行 角 幸二郎
坂井 音隆 清水 義也

瓜盗人

シテ/盗人 中村 修史
アド/畑主 岡 聡一

鐘麩

前シテ/担入 中村 昌弘
後シテ/鐘麩の婆 矢野 昌平
ワキ/旅人 飯田 祐豪
アイ/山道の者 栗林 孔輔
前 飯田 祐豪
大鼓 大佃 良太郎
太鼓 横山 典一
後見 政木 哲司 山中 一馬
本田 芳樹 山井 綱雄
本田 由樹 高橋 八郎
岩間啓一郎 井上 貴覚

終演予定午後3時45分頃

《月間特集・絵画と能・狂言》

演目と同じ題材が描かれた絵画とともに能の魅力味わう「絵画と能」シリーズの九回目。
今回は今年没後三〇〇年を迎える江戸中期の画家・英一蝶(一六五二―一七二四)の作品を特集します。洒脱な作風の絵師として活躍した一蝶は、能・狂言を題材とした作品を多く残しており、また門弟に画業でも知られるワキ方福王流九世・福王盛勝(雲字)を擁するなど、能・狂言との関わりが色濃く窺える存在です。柿山伏 木に登り柿を盗み食いしているところを畑主に見つかった山伏。あわてて木の蔭に隠れた姿を、畑主は鳥だと言いつつ始め…。

絵画作品Ⅰ「狂言画巻」より「柿山伏」
神の心を和らげる貴之の歌
蟻通 歌人・紀貫之は和歌の神といわれる玉津島の社へ参詣した帰りに、蟻通明神の神域に馬で入り込んでしまします。神域を守る老宮守は貫之を諷め、神の怒りを収める和歌を詠むよう促します。和歌の徳を讃えた世阿弥作の能です。

絵画作品Ⅱ「蟻通図」
節分 節分の夜、一人留守番をする女の家に鬼が現れ、妻に娶ろうと口説き始めます。女は言い寄る鬼を拒みますが…。

絵画作品Ⅲ「二月風俗図」より「節分」
形見の烏帽子・狩衣を手に
松風 月照の須磨の浦、汐汲車を引く二人の海女乙女は、かつて在原業平に愛された松風・村雨姉妹の霊でした。松を見つめ、懐旧と恋慕の想いがより強調される小書「見留」での上演です。

絵画作品Ⅳ「松風村雨図」
内沙汰 隣人の左近を訴えるため、右近は妻を相手に訴訟の稽古を始めます。何かと左近の肩を持つ妻に背立つ右近は…。

絵画作品Ⅴ「狂言画巻」より「右近左近」
秋の夜に響く哀愁の琴の音
小督 秋の嵯峨野、中秋の名月に高倉院を想い「想夫恋」を奏する小督局。その音を頼りに、院の文を持った源仲国が使者として訪れます。

絵画作品Ⅵ「小督局隠棲図」

お願い ●出演者などの変更の場合はご了承ください。 ●駐車場がございませんので車でのご来場はご遠慮ください。 ●上演中は、時計等のアラームや携帯電話の電源はお切りください。 ●上演中の写真撮影及び録音・録画は固くお断りいたします。